

2019年12月23日
 一般社団法人 GOLD 日本委員会
 事務局（株式会社アース・ワン・オフィス内）
 （担当）大塚
 （電話）03-5360-4334 （FAX）03-5360-4336
 （E-Mail）info@gold-jac.jp

COPD 認知度把握調査 結果報告書

- GOLD 日本委員会事務局による COPD 認知度把握調査の実施

GOLD 日本委員会では、現在までに 12 回にわたって、インターネットによる COPD 認知度把握調査を実施してきました。以下のとおり、その概要と結果をご紹介します。

- 調査の概要

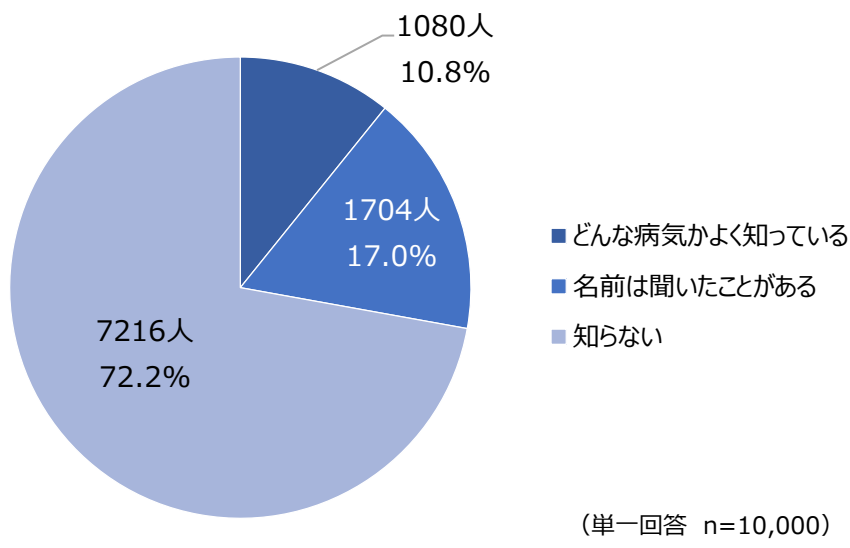
	1 次調査	2 次調査
方 法	インターネット調査	
調査期間	【第 1 回】2009.7.23 【第 7 回】2014.12.8-10 【第 2 回】2009.12.14 【第 8 回】2015.12.1-2 【第 3 回】2010.12.6 【第 9 回】2016.12.1-5 【第 4 回】2011.12.8 【第 10 回】2017.12.10-12 【第 5 回】2012.12.14 【第 11 回】2018.12.3 【第 6 回】2013.12.16 【第 12 回】2019.12.2	【第 1 回】2009.7.27 【第 7 回】2014.12.9-11 【第 2 回】2009.12.15-16 【第 8 回】2015.12.2-3 【第 3 回】2010.12.7 【第 9 回】2016.12.2-5 【第 4 回】2011.12.9 【第 10 回】2017.12.12-13 【第 5 回】2012.12.15 【第 11 回】2018.12.4-5 【第 6 回】2013.12.17-18 【第 12 回】2019.12.3-4
調査対象	性(男・女)、年代(20 代・30 代・40 代・50 代・60 歳以上)別に 1,000 人ずつを均等ランダム抽出した 10,000 人	1 次調査で COPD が「どんな病気かよく知っている」と回答した人の中から性(男・女)、年代(20 代・30 代・40 代・50 代・60 歳以上)別に 11 回人ずつを均等ランダム抽出した 110 人
調査内容	Q1. あなたは COPD(シー・オー・ピー・ディー)という病気を知っていますか？ Q2. 以下の中で、聞いたことがある病気をお選びください。 (慢性閉塞性肺疾患、肺気腫、慢性気管支炎) Q3. あなたは「肺年齢」の検査について知っていますか？	Q1. あなたは喫煙したことがありますか？ Q2. COPD(シー・オー・ピー・ディー)という病気について知ったのはいつですか？ Q3. どのような経路で COPD について知りましたか？ Q4. COPD の原因の 90%以上は喫煙であることを知っていますか？ Q5. 喫煙経験のある 40 歳以上の 8 人に 1 人は、COPD の可能性があることを知っていますか？ Q6. COPD の主な症状は慢性的な咳と痰(たん)、息切れであることを知っていますか？

資料

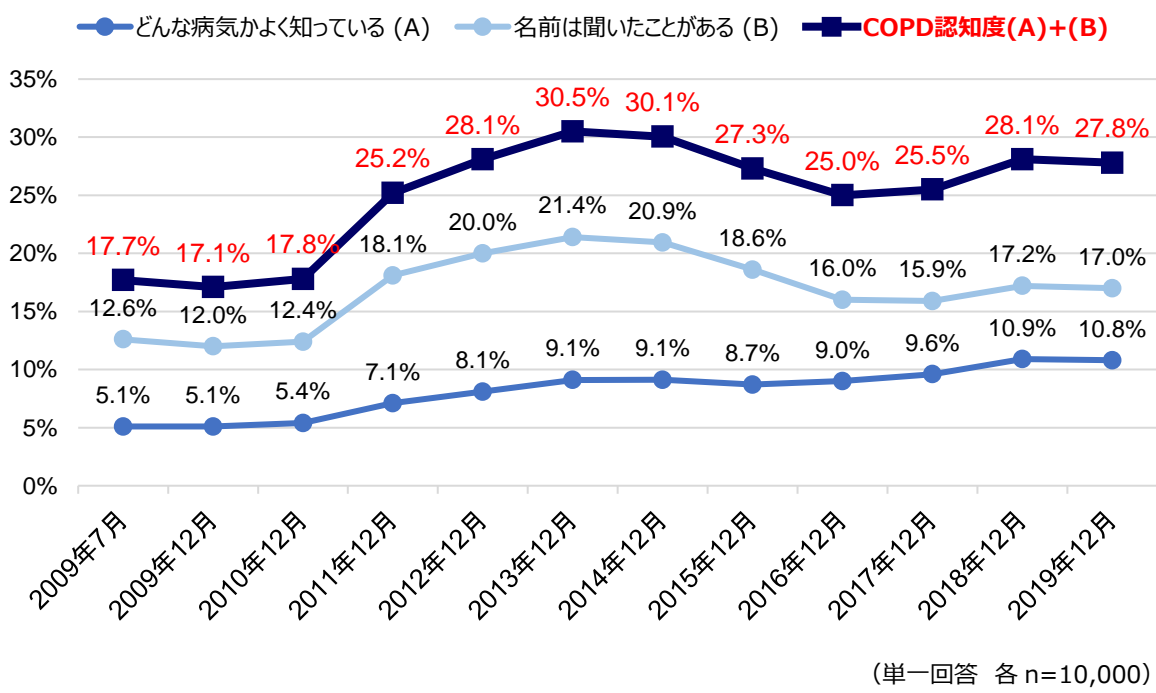
● COPD 認知度とその推移 (1次調査 Q1) 【2019年12月調査】

「あなたは COPD (シー・オー・ピー・ディー) という病気を知っていますか?」という質問に対して、「どんな病気かよく知っている」「名前は聞いたことがある」と答えた人は、合わせて 2,784 人 (27.8%) となった。COPD の認知度は調査を開始した 2009 年から 17% 台で推移していたが、その後は 2013 年の 30.5% をピークに 25% から 30% 台の間で推移している。2019 年の結果は 2018 年の 28.1% から 0.3 ポイントのマイナスなり、ほぼ横ばいの結果となった。

COPD 認知度 (2019年12月調査)



COPD 認知度の推移



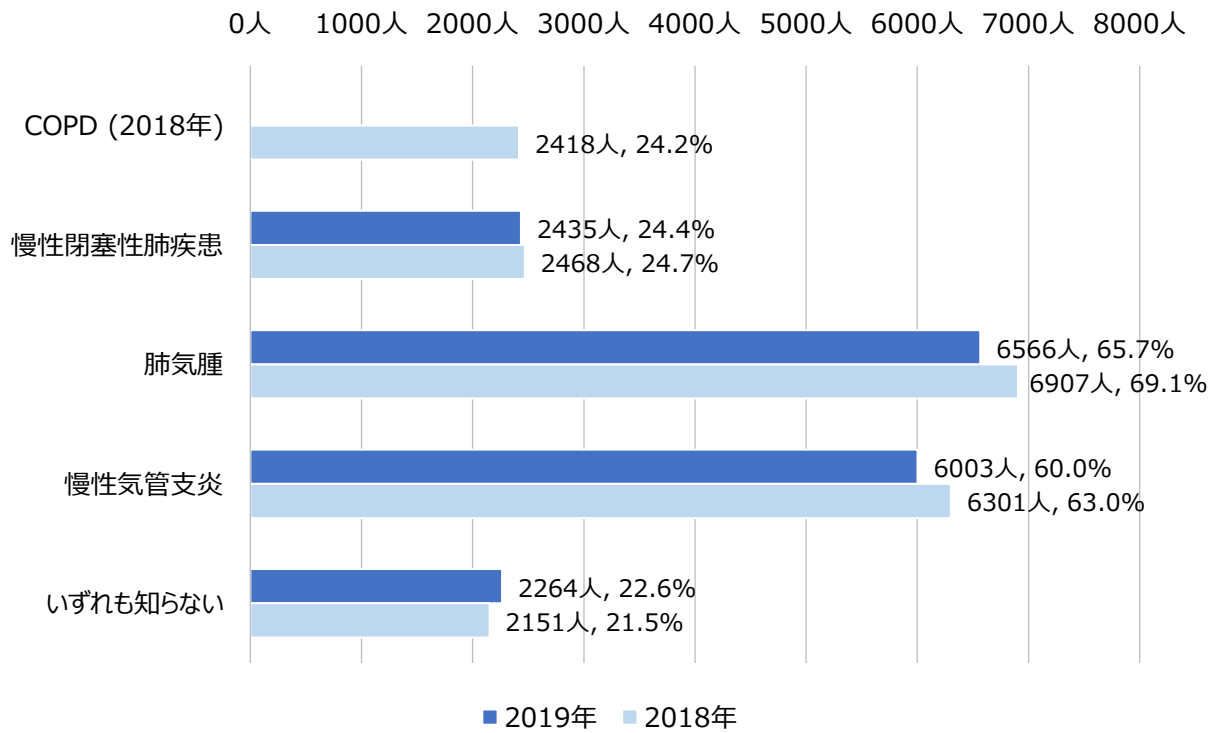
資料

- 「慢性閉塞性肺疾患」「肺気腫」「慢性気管支炎」の認知の度合い（1次調査 Q2）

【2019年12月調査】

「慢性閉塞性肺疾患」「肺気腫」「慢性気管支炎」の中で聞いたことがある病気を質問したところ、「肺気腫」が6,566人（65.7%）、「慢性気管支炎」が6,003人（60.0%）と2018年の調査同様、高い結果となった。「慢性閉塞性肺疾患」は2,435人（24.4%）で、「肺気腫」に比べて聞いたことがある人は1/3程度と、こちらも2018年の調査と同様な結果となった。

「慢性閉塞性肺疾患」「肺気腫」「慢性気管支炎」の認知度合い（2019年調査・2018年調査 比較）



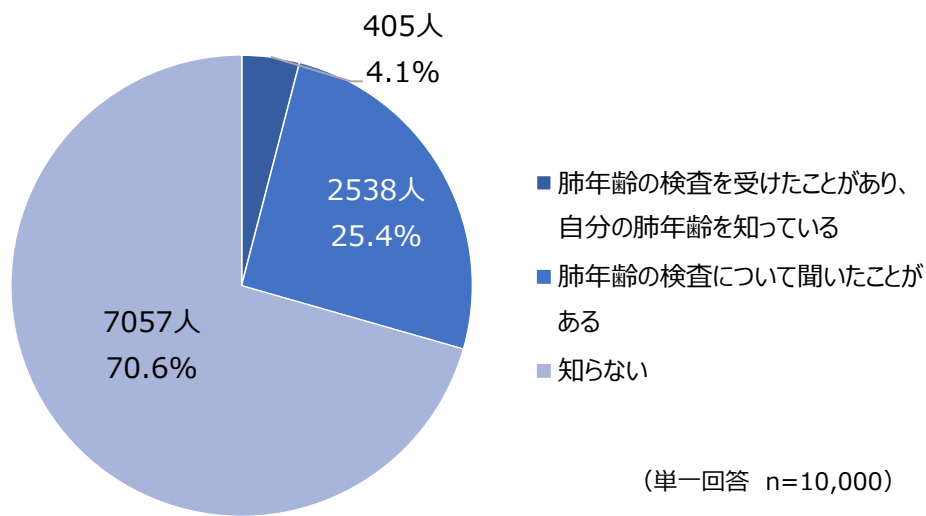
（複数回答 n=10,000）

資料

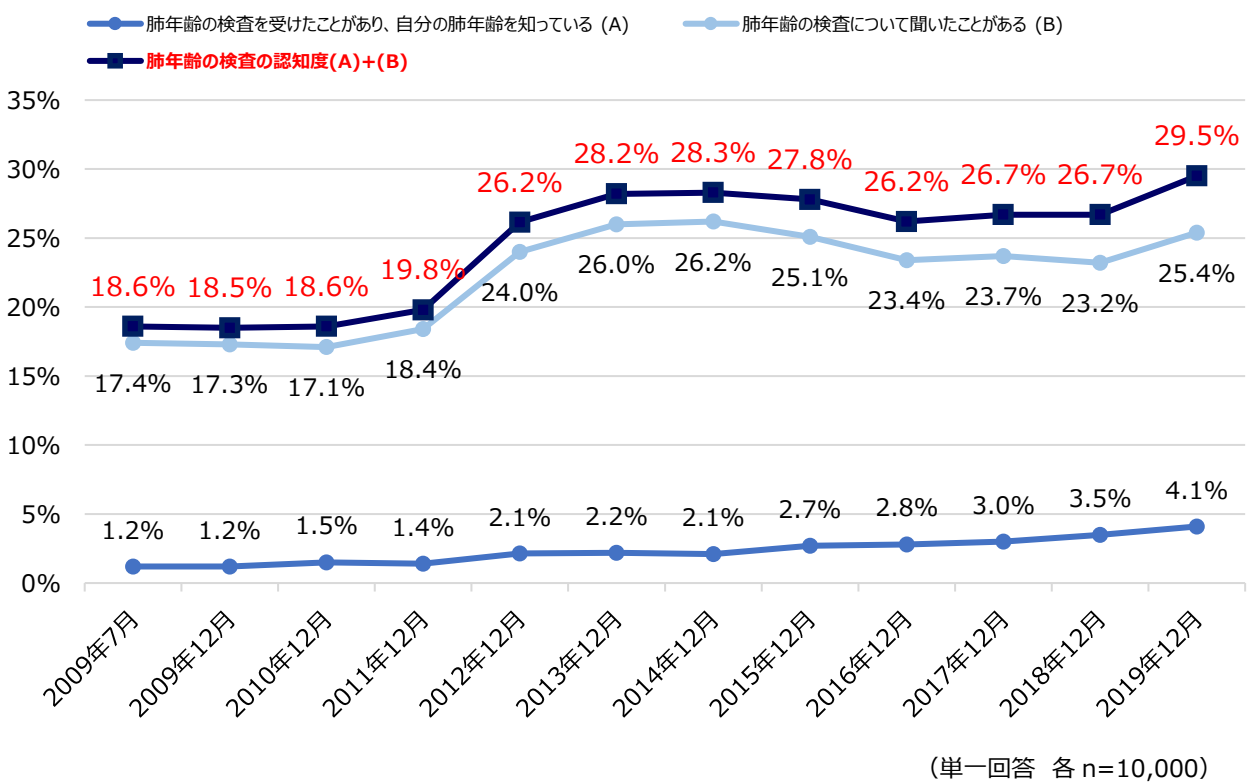
● 肺年齢の検査の認知度とその推移（1次調査 Q3） 【2019年12月調査】

「あなたは『肺年齢』の検査について知っていますか？」という質問に対して、「肺年齢の検査を受けたことがあり、自分の肺年齢を知っている」「肺年齢の検査について聞いたことがある」と答えた人は合わせて2,943人（29.5%）で、2018年と比べ2.8ポイント上昇。2009年から2011年にかけての4回の調査では肺年齢の認知度は19%前後でほとんど変化がみられなかったが、2012年には26.2%に上昇し、以後26～28%台で推移していた。

肺年齢の検査の認知度（2019年12月調査）

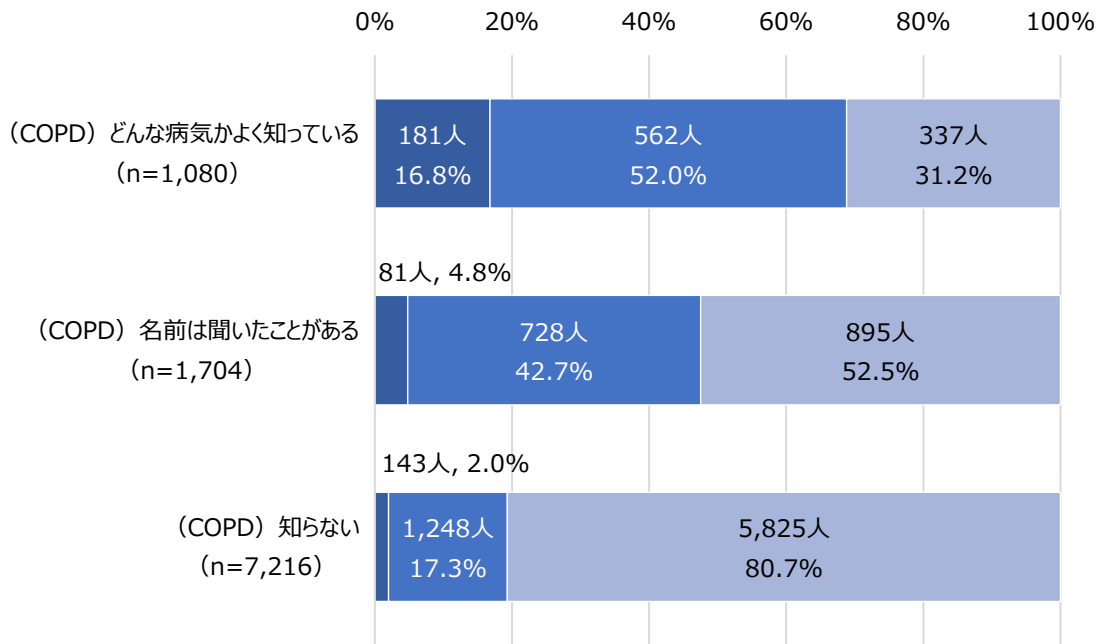


肺年齢の検査の認知度の推移



資料

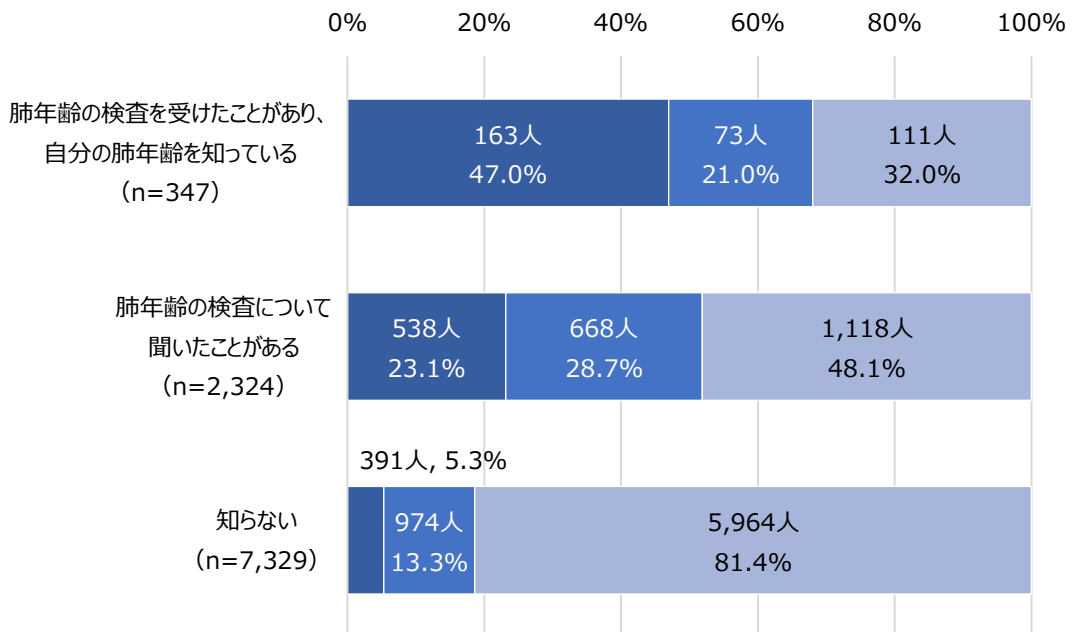
● COPD と肺年齢の認知度の関係 (1次調査 Q1×Q3) 【2019年12月調査】



■ 肺年齢の検査を受けたことがあり、自分の肺年齢を知っている ■ 肺年齢の検査について聞いたことがある ■ 知らない

(n=10,000)

● COPD と肺年齢の認知度の関係 (1次調査 Q3×Q1) 【2019年12月調査】



■ (COPD) どんな病気かよく知っている ■ (COPD) 名前は聞いたことがある ■ (COPD) 知らない

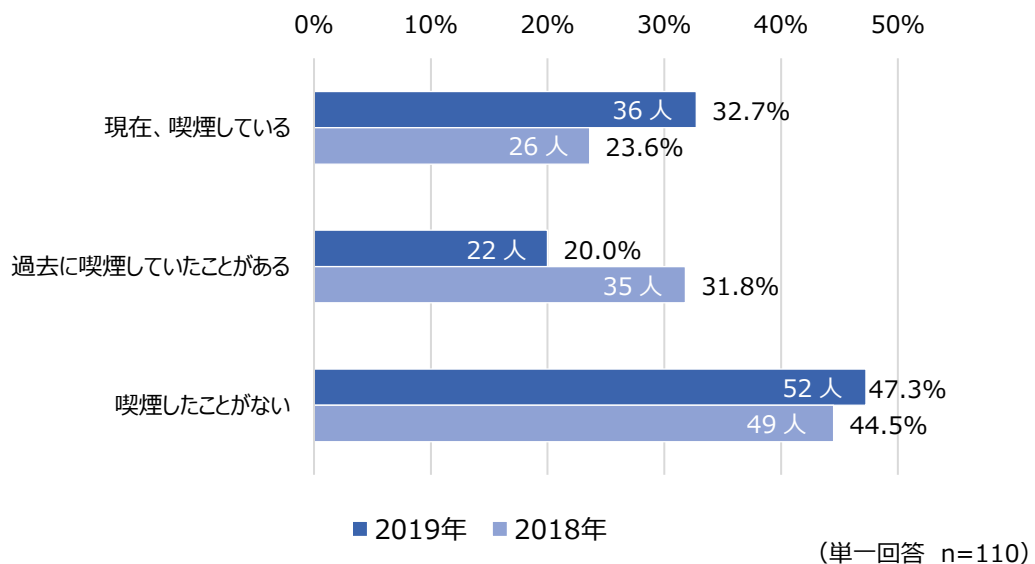
(n=10,000)

資料

● 喫煙経験の割合（2次調査 Q1） 【2019年12月調査】

喫煙経験について質問したところ、「現在、喫煙している」と答えた人は32.7%（36/110人）で、2018年の調査と比べ増える結果となった。一方、喫煙したことがないと回答した人もわずかに増えた。「COPDがどんな病気かよく知っている」と答えた人の半数以上が喫煙経験者という結果となった。

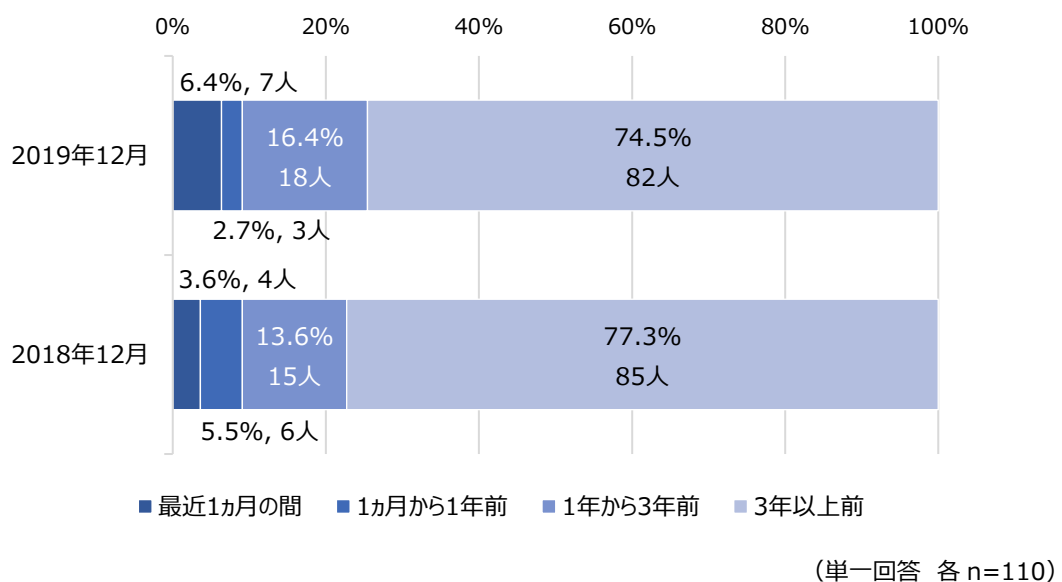
喫煙経験の割合（2019年調査・2018年調査 比較）



● COPDの認知時期（2次調査 Q2） 【2018年12月調査】

「COPD（シー・オー・ピー・ディー）という病気について知ったのはいつですか？」という質問に対して、最も多かった回答は「3年以上前」の74.8%（82人）で、その割合は2018年（77.3%、85人）より減少している。一方で、この1年の間に新たにCOPDを知った人は合わせて9.1%（10人）で、2018年（9.1%、10人）と同様だが、「最近の1ヵ月の間」の比率は増加している。

COPDの認知時期の推移（2019年調査・2018年調査 比較）

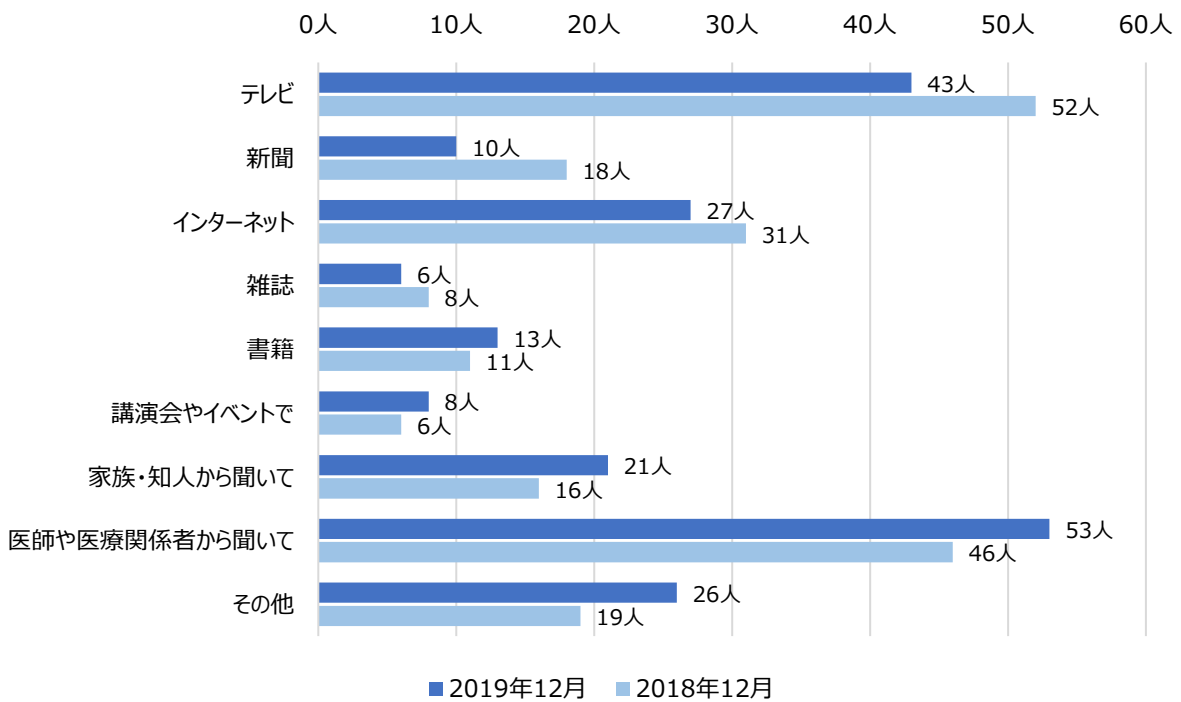


資料

● COPD の認知経路（2次調査 Q3） 【2019年12月調査】

「どのような経路で COPD について知りましたか？」という質問（複数回答）で回答が多かったのは「医師や医療関係者から聞いて」53人、「テレビ」43人、「インターネット」27人で、2018年に比べ「医師や医療関係者から聞いて」が増加した。一方、回答人数は多かったものの「テレビ」は2018年に比べ減少し、「新聞」も大きく減少する結果となった。

COPD の認知経路の推移（2019年調査・2018年調査 比較）



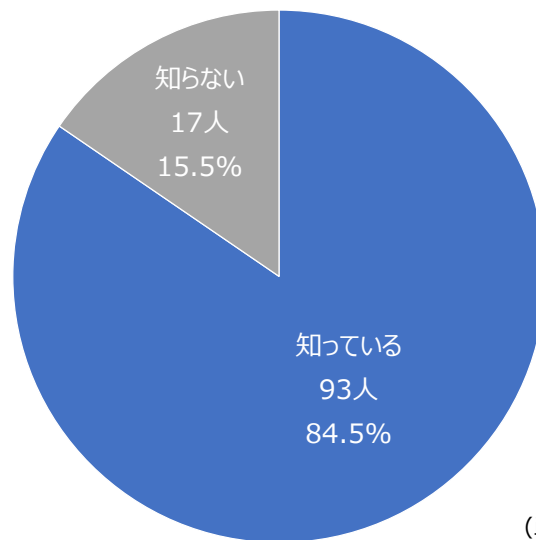
（複数回答 各 n=110）

資料

● 「COPDの原因の90%以上は喫煙であること」の認知度（2次調査 Q4） 【2019年12月調査】

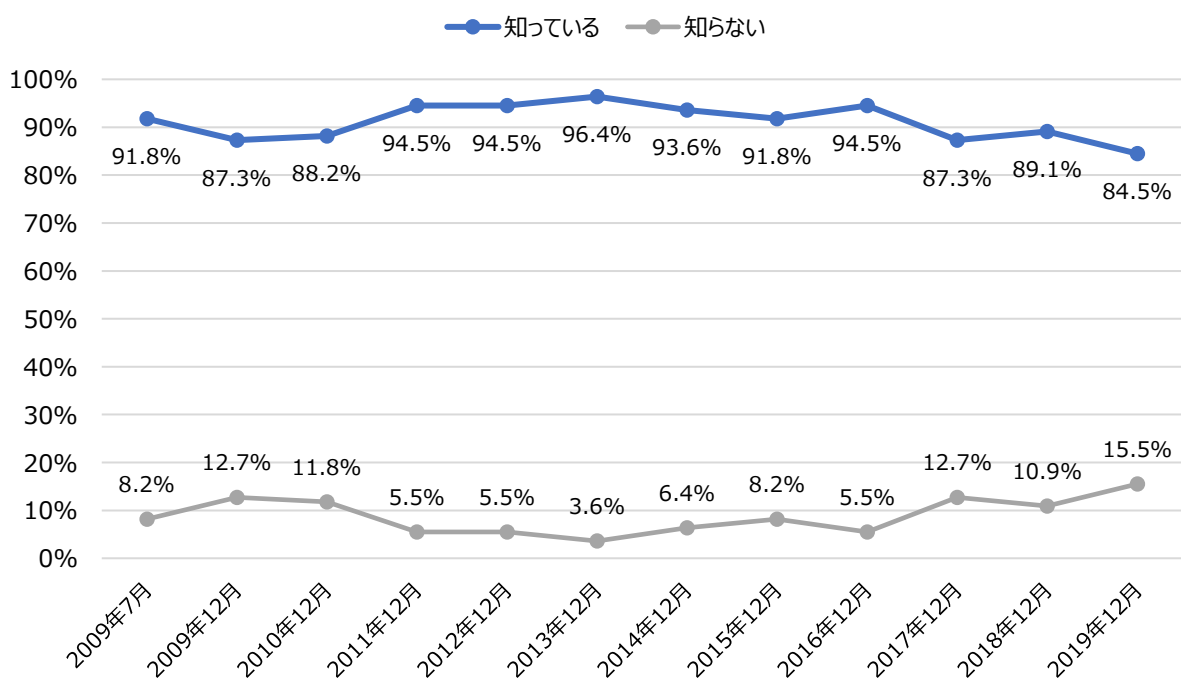
「COPDの原因の90%以上は喫煙であることを知っていますか？」という質問に対して、「知っている」と答えた人は98人（84.5%）であり、COPDを知っている人の大部分がCOPDの原因を正しく認識しているといえる結果となった。ただし、この認識率は減少傾向になっている。

「COPDの原因の90%以上は喫煙である」ことの認知度（2019年12月調査）



（単一回答 n=110）

「COPDの原因の90%以上は喫煙である」ことの認知度の推移



（単一回答 各 n=110）

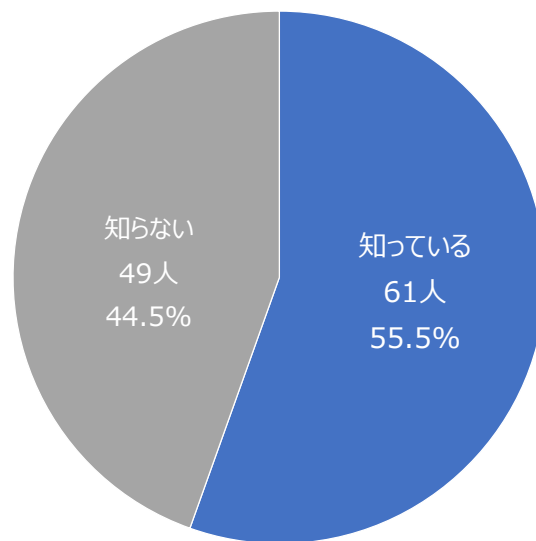
資料

- 「喫煙経験のある40歳以上の8人に1人は、COPDの可能性がある」ことの認知度（2次調査 Q5）

【2019年12月調査】

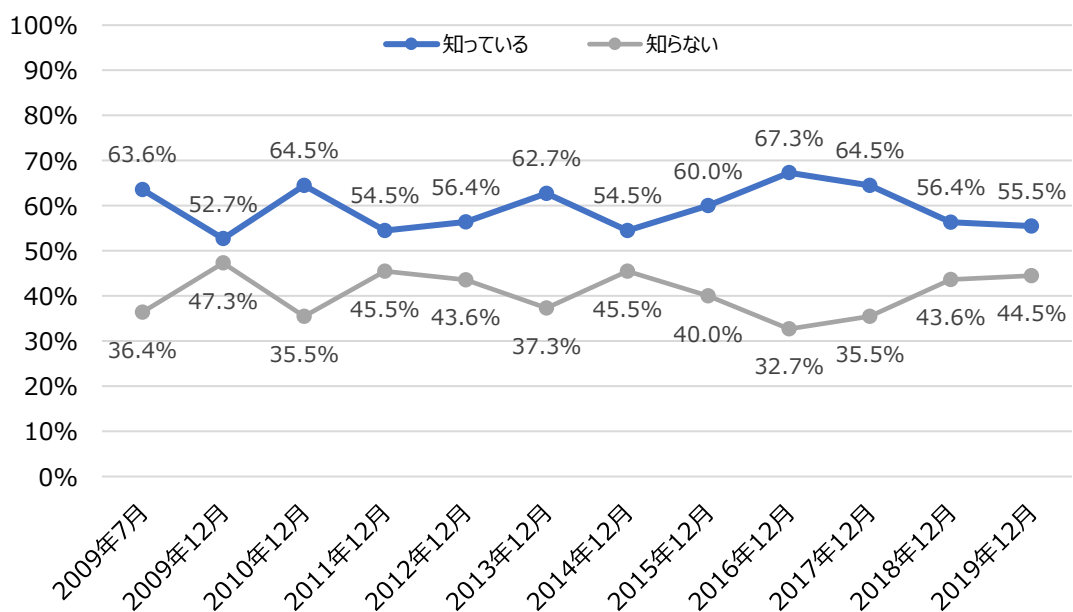
「喫煙経験のある40歳以上の8人に1人は、COPDの可能性を知っていますか？」という質問に対して、「知っている」と答えた人は61人（55.5%）で、COPDを知っている人の半数以上は喫煙経験、年齢とCOPDの関連を正しく認識しているといえる結果となった。ただし、その割合は減少傾向となっている。

「喫煙経験のある40歳以上の8人に1人は、COPDの可能性がある」ことの認知度（2019年12月調査）



（単一回答 n=110）

「喫煙経験のある40歳以上の8人に1人は、COPDの可能性がある」ことの認知度の推移



（単一回答 各 n=110）

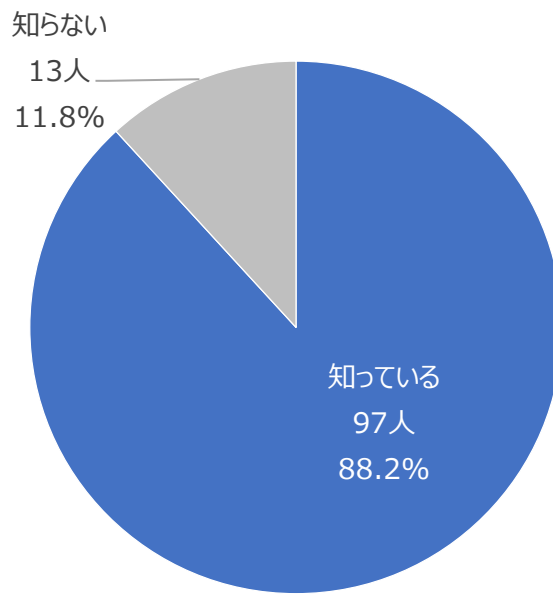
資料

- 「COPD の主な症状は慢性的な咳と痰（たん）、息切れである」ことの認知度（2次調査 Q6）

【2019年12月調査】

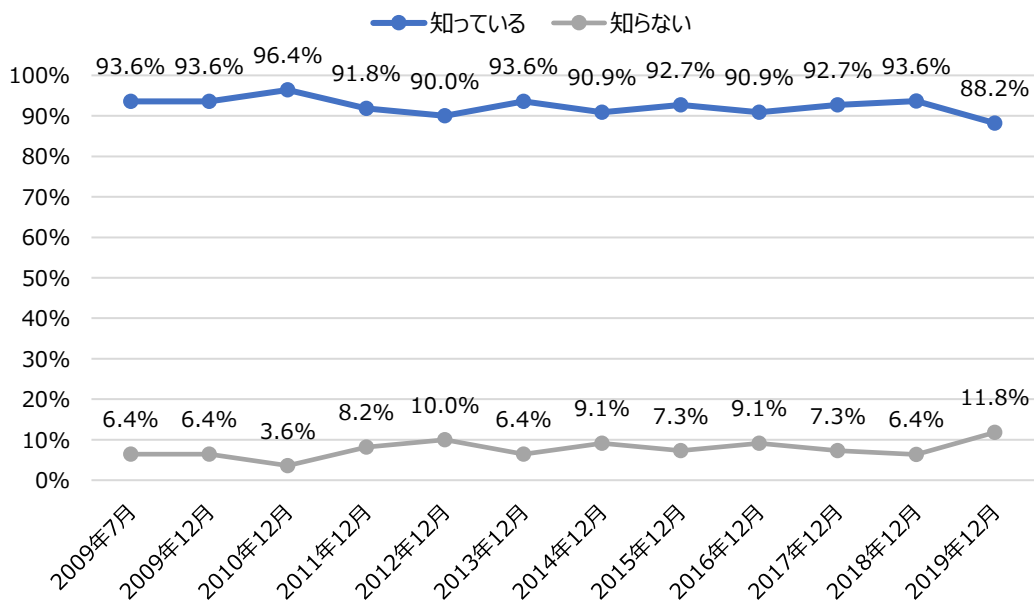
「COPD の主な症状は慢性的な咳と痰（たん）、息切れであることを知っていますか？」という質問に対して、「知っている」と答えた人は97人（88.2%）で、大部分の人が COPD の主な症状を正しく認識しているといえる結果となった。ただし、2009年の調査開始以降9割を超える認知率であったが、今回、9割を下回る結果となった。

「COPD の主な症状は慢性的な咳と痰（たん）、息切れである」ことの認知度（2019年12月調査）



（単一回答 n=110）

「COPD の主な症状は慢性的な咳と痰（たん）、息切れである」ことの認知度の推移



（単一回答 各 n=110）